

# 決算説明資料

2021年3月期第3四半期



Listed Company 4241

2021年2月  
株式会社アテクト

# 通期業績予想の修正について

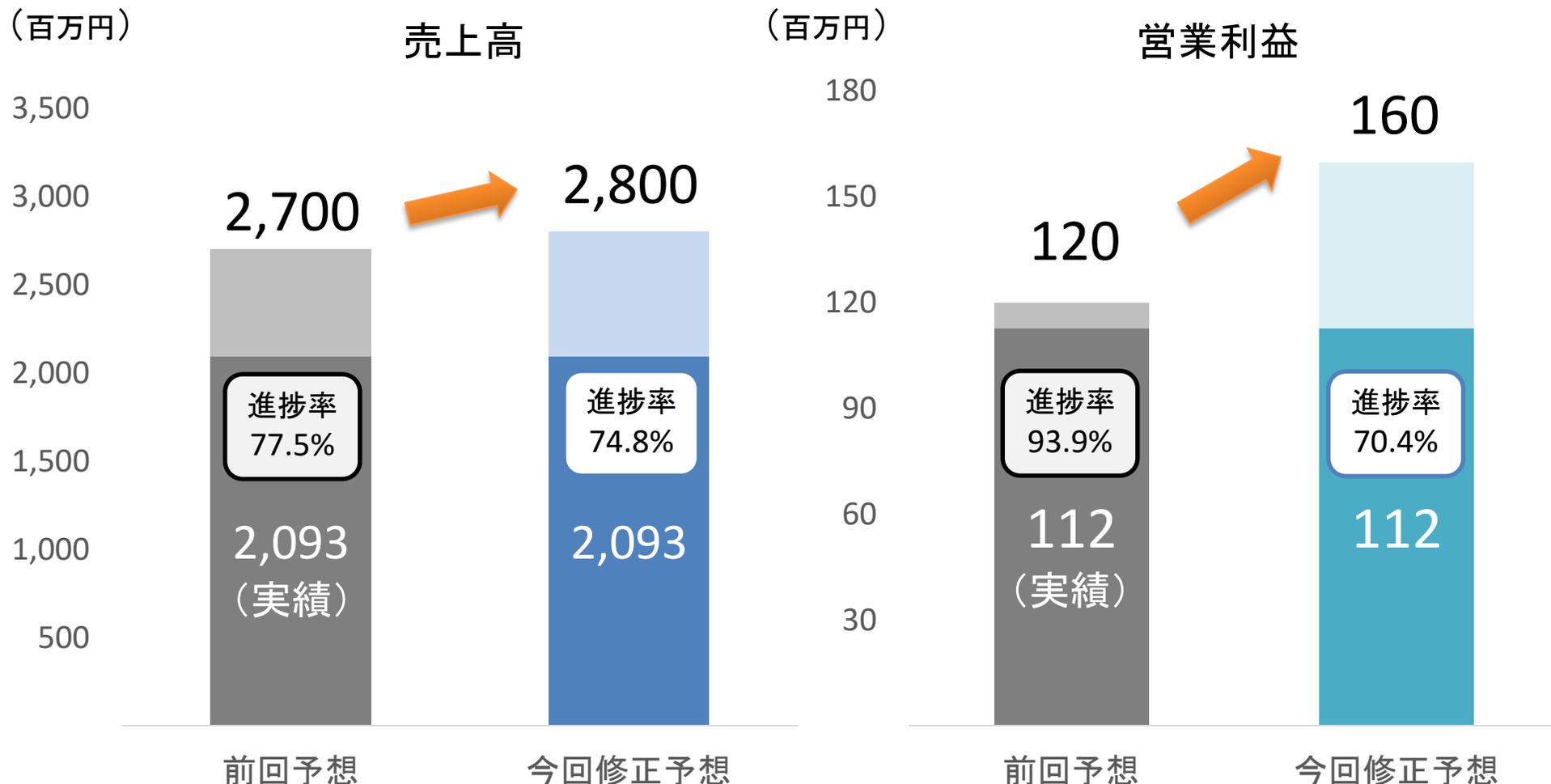
(百万円)

|                | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|----------------|-------|------|------|-----------------|------------|
| 前回予想(A)        | 2,700 | 120  | 100  | 50              | 11円36銭     |
| 今回修正予想(B)      | 2,800 | 160  | 150  | 60              | 13円64銭     |
| 増減額(B-A)       | 100   | 40   | 50   | 10              | —          |
| 増減率(%)         | 3.7   | 33.3 | 50   | 20              | —          |
| (ご参考)          |       |      |      |                 |            |
| 前期実績(2020年3月期) | 2,977 | 157  | 126  | 38              | 8円76銭      |

新型コロナウイルスの影響により、前年割れとなっていた半導体資材・衛生検査器材事業の2大コア事業において第3四半期以降、下記の理由により、好転する見込みとなった為、業績予想の修正を行います。

- ① 巣籠り需要により、夏以降の液晶テレビの世界需要は堅調に推移、需要回復の見込み
- ② 内食の需要拡大により、市販用食品が好調、本来閑散期となる第4四半期も堅調に推移する見込み
- ③ 増産による固定費負担の軽減並びに経費削減活動により増益

# 業績予想に対する進捗



前回予想値に対し、100百万円の増収、40百万円の増益の見込

# 2021年3月期第3四半期 業績総括



*Listed Company 4241*

## ●半導体資材事業

第3四半期以降、コロナ感染拡大前の受注に回復し、当第4四半期以降も前年を上回る受注を見込んでおります。

## ●衛生検査器材事業

食品衛生業界の産業構造が大きく変化する中で、内食・デリバリー及びテイクアウト需要の増加により、当第3四半期単独では、前年同期比2.9%の増収となり、本来、閑散期となる第4四半期の受注も前年を上回る見込みとなっております。

## ●PIM事業

半導体設備や工作機械の世界的需要低迷が続いており、新規量産品として受注した高機能部品が想定を大きく下回り、第4四半期以降も不透明な状態です。

## 【全グループでの主な対応】

- ・経費節減プロジェクトにより第3四半期累計販管費114百万円削減
- ・シェア及び半導体資材製造部門において在庫圧縮と生産の効率化により、週一の稼働停止、併せて間接部門の輪番制出勤体制による一時帰休を実施し雇用調整助成金を申請

# 全社連結業績

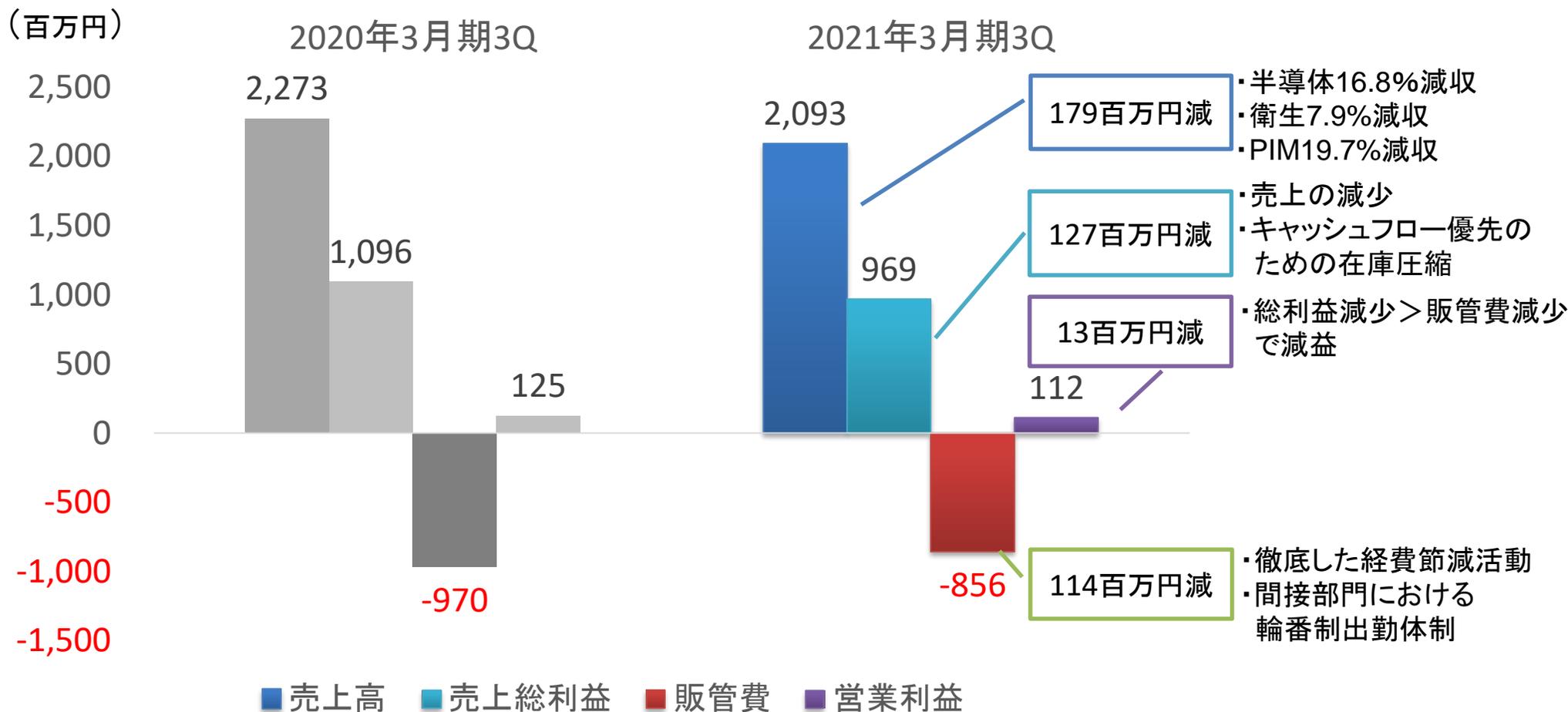
atect

(百万円)

|              | 2020年3月期<br>第3四半期 | 2021年3月期<br>第3四半期 | 増減額  | 前年同期比  |
|--------------|-------------------|-------------------|------|--------|
| 売上高          | 2,273             | 2,093             | -179 | -7.9%  |
| 営業利益         | 125               | 112               | -13  | -10.4% |
|              | 5.5%              | 5.4%              |      |        |
| 経常利益         | 92                | 87                | -4   | -4.9%  |
|              | 4.1%              | 4.2%              |      |        |
| 第3四半期<br>純利益 | 89                | 50                | -39  | -43.6% |

グループ連結売上高は前期比7.9%減、営業利益10.4%減  
第3四半期単独では1.5%の増収、79.7%の増益

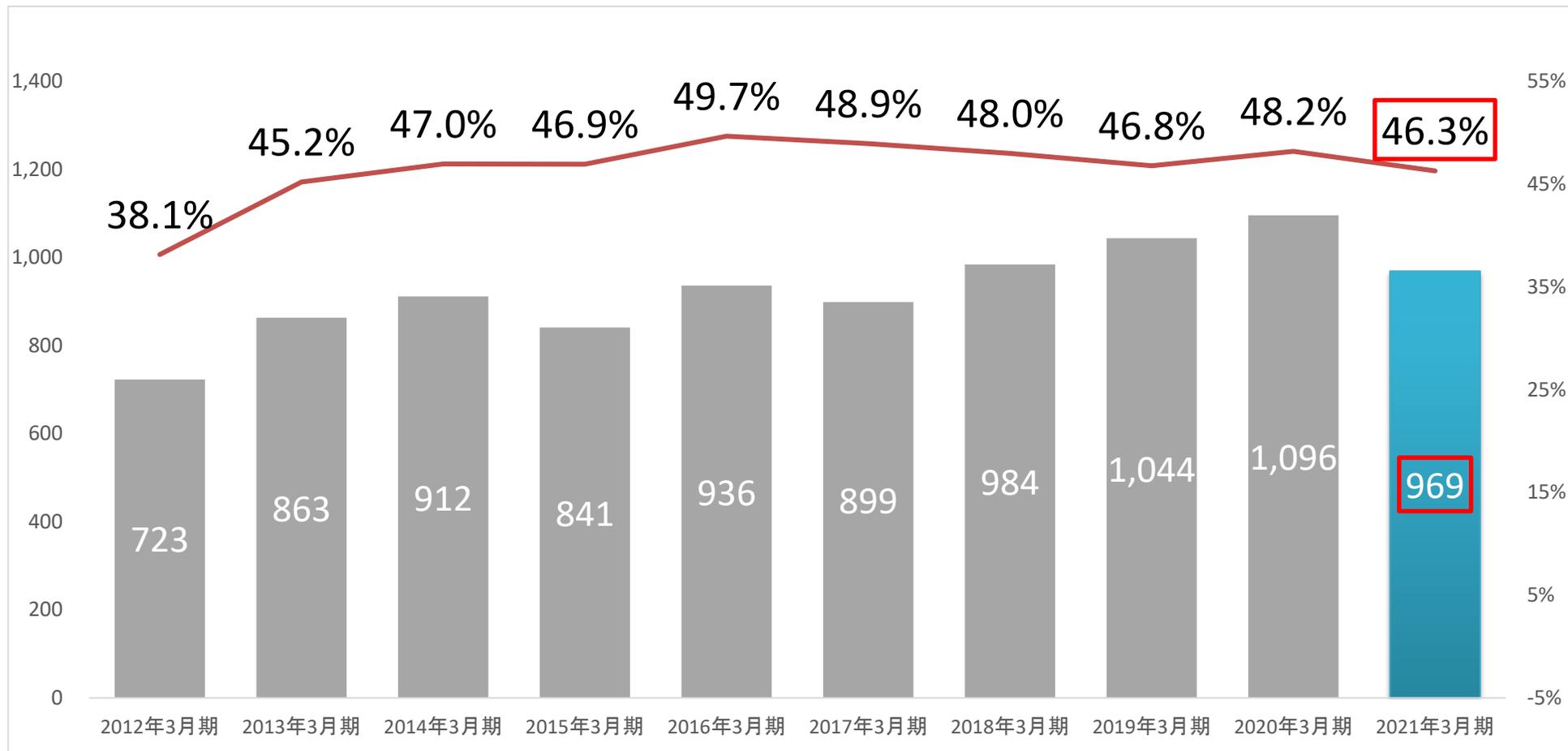
# 2021年3月期3Qサマリー



売上総利益は127百万円減少となったが、販管費114百万円の削減(前期比11.8%減)により営業利益は13百万円減

# 3Q売上総利益推移

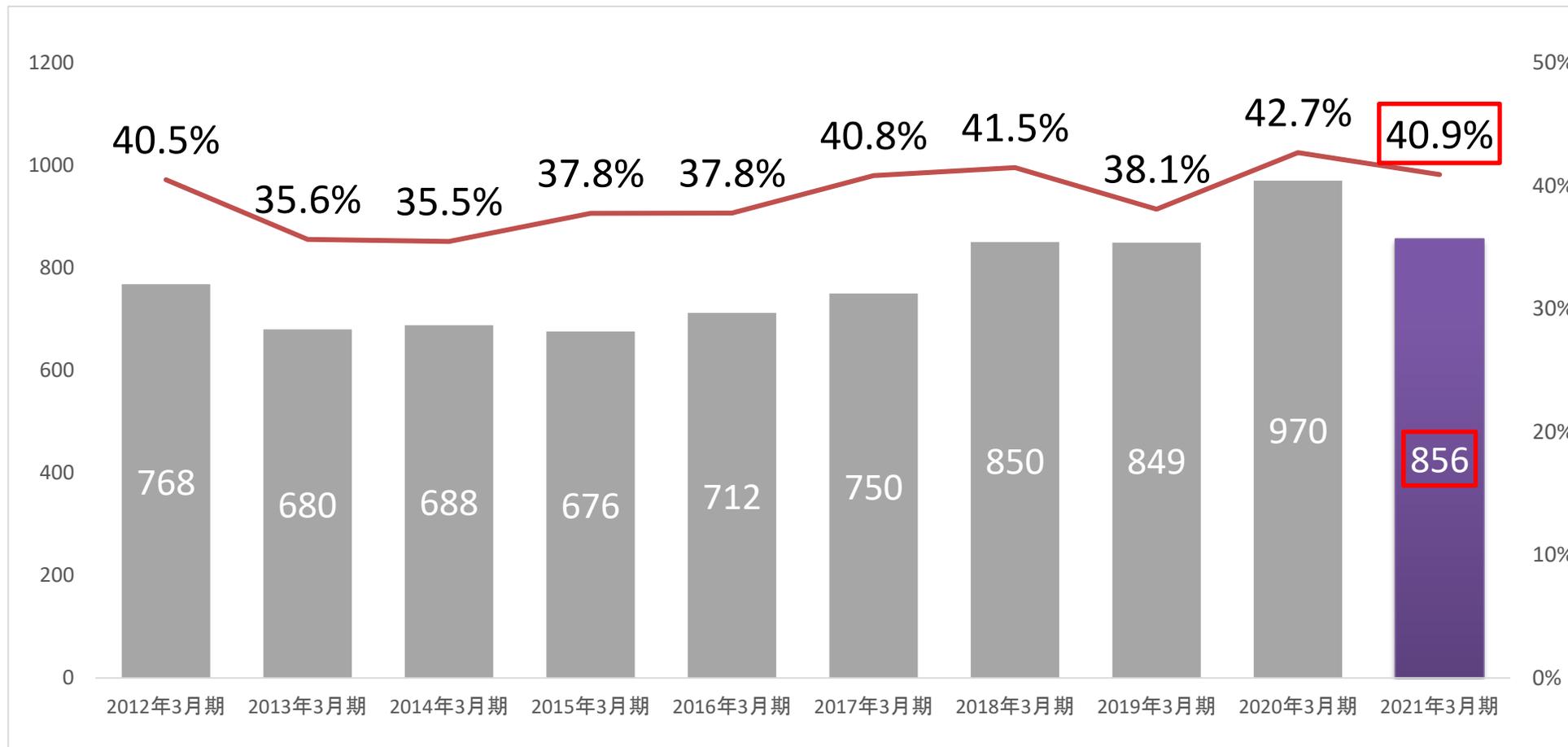
(単位:百万円)



新型コロナウイルスによる減産及びキャッシュフロー改善の為、在庫の圧縮により、売上総利益は額・率共に減少

# 3Q販売管理費推移

(単位:百万円)



徹底した全社経費節減活動及び間接部門における輪番出勤体制による雇用調整  
助成金申請⇒販管費114百万円圧縮

# 各事業の現況と今後について

## 1. 半導体資材

- ① 巣籠り需要により、夏以降の液晶テレビの世界需要は堅調に推移、需要回復の見込み
- ② 日韓2拠点での生産調整は解除し、需要増に対応する為、生産能力の増強を予定

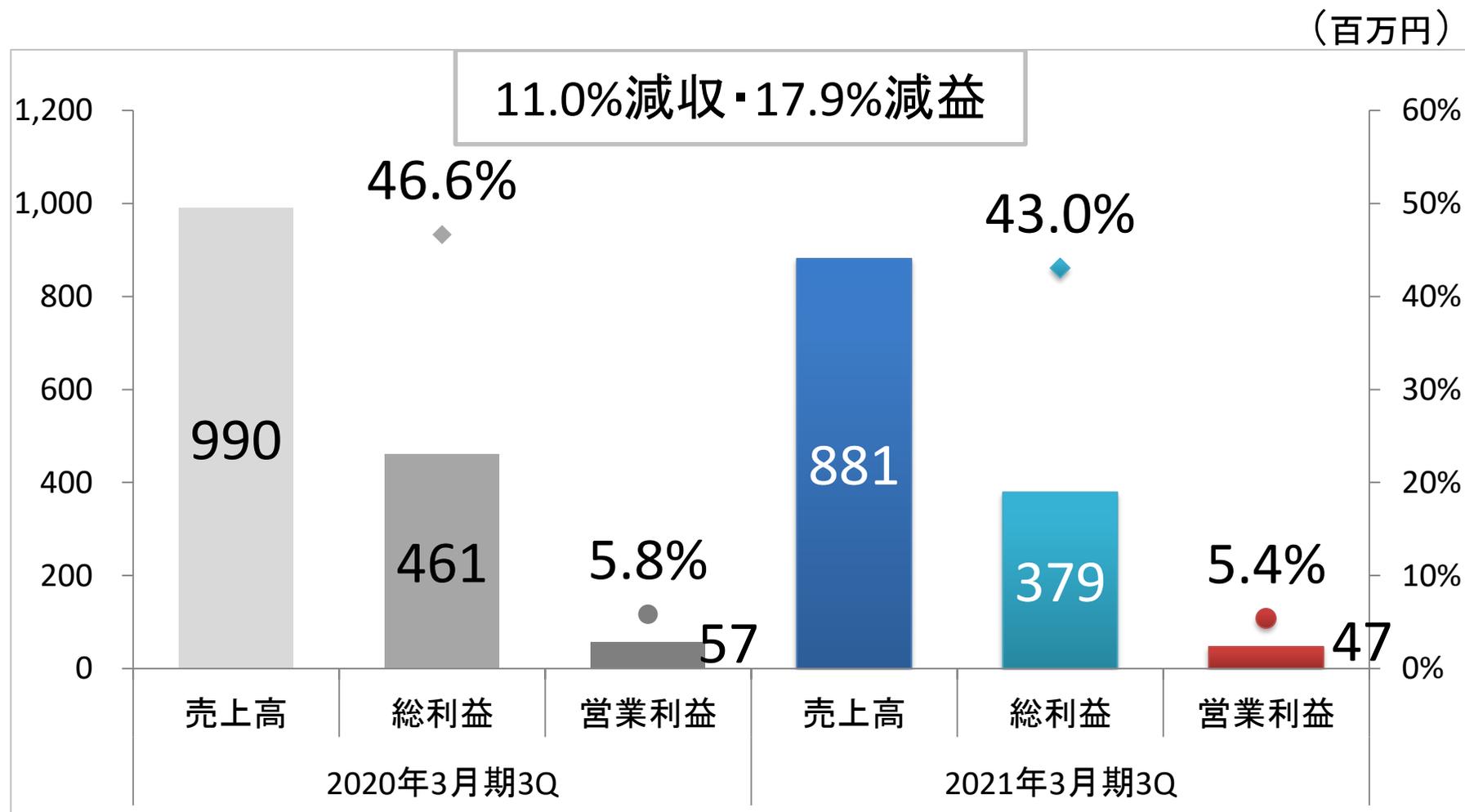
## 2. 衛生検査器材

- ① 内食の増加により、市販用食品が好調⇒10月以降は前期比を上回る受注を継続中
- ② 在庫圧縮と生産効率の改善により、一時帰休を積極的に実施し、キャッシュフローの改善と増益(総利益率6.1%増:第3四半期単独)を両立

## 3. PIM

- ① 高機能部品の受注回復は依然不透明だが、やや持ち直しの兆し有り
- ② 来期量産予定のターボ部品試作イベントに注力するため、引き続き営業活動を抑制
- ③ 新型コロナウイルスの再拡大の影響により、予定していた自動車メーカーでの最終承認試験に遅れ発生⇒量産開始時期確認中
- ④ 新規設備の導入・安定量産技術の確立・PPAP(生産部品承認プロセス)の承認活動は変更無く進め、量産開始決定後の生産体制を盤石なものにすべく準備を進める

# 1. 半導体資材事業

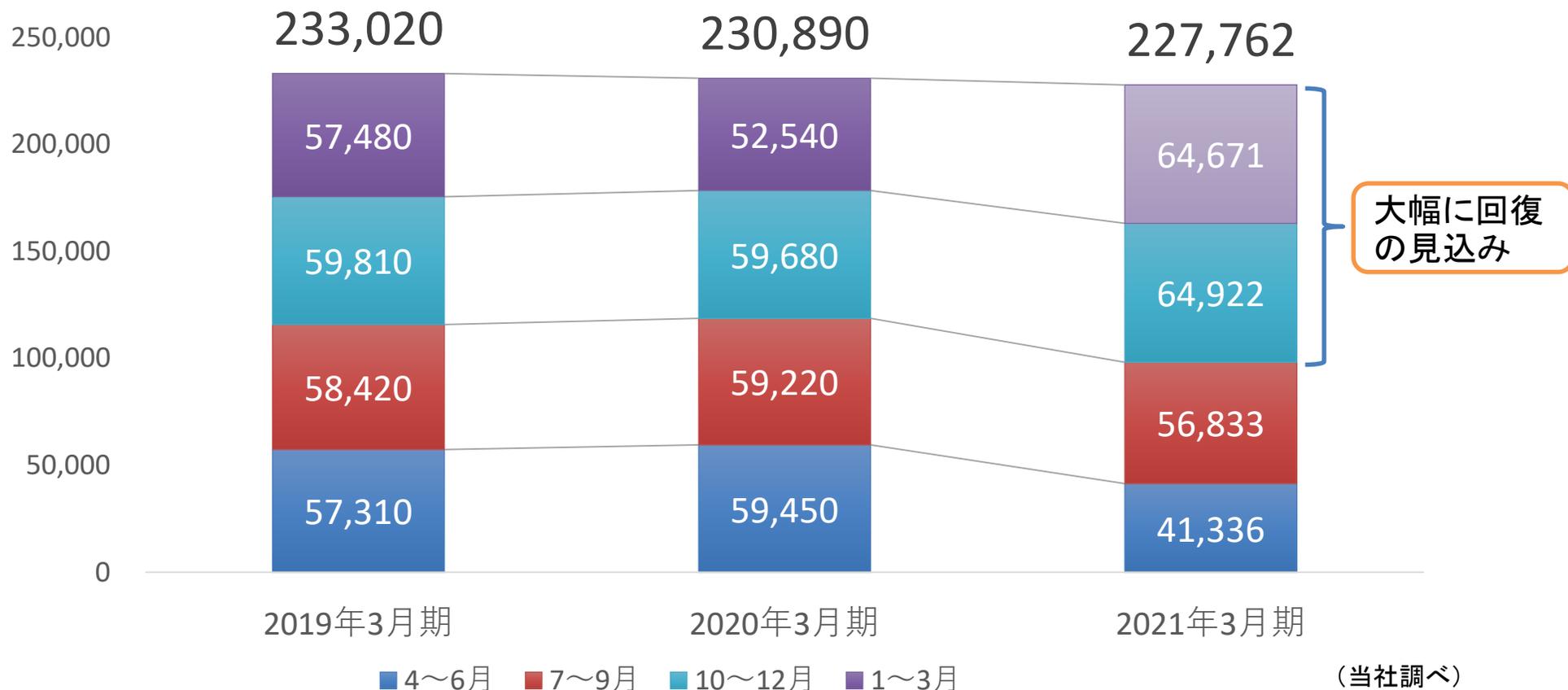


当第2四半期累計期間の売上高は16.8%の減収となったが、当第3四半期以降新型コロナウイルス拡大前の受注数量に回復、減収幅は11.0%に圧縮

# 1-1 全世界テレビ販売台数推移

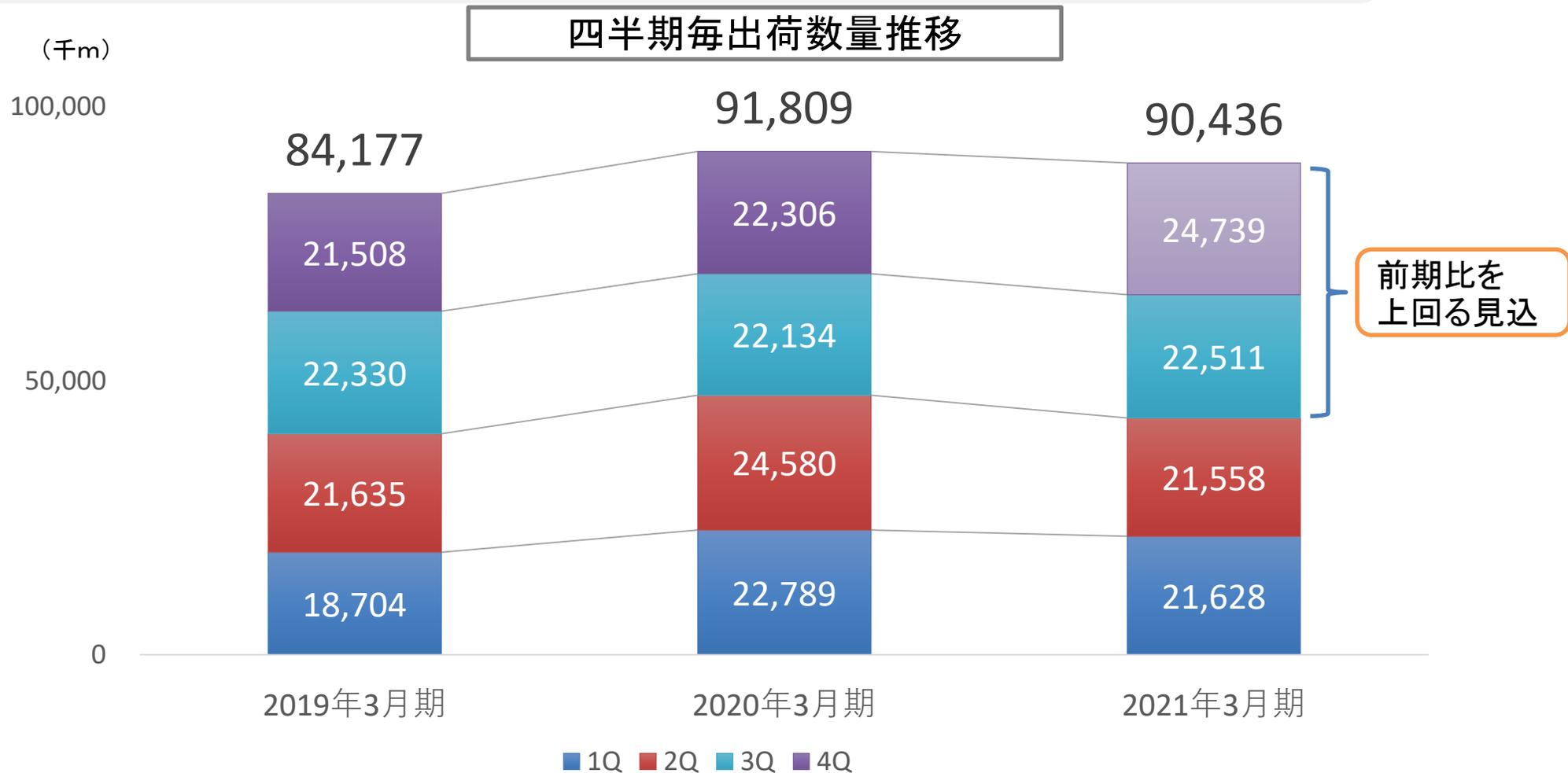
テレビ販売台数推移

(千台)



テレビ販売台数は2Qまで大きく落ち込んだものの、3Q以降大幅に回復の見込み

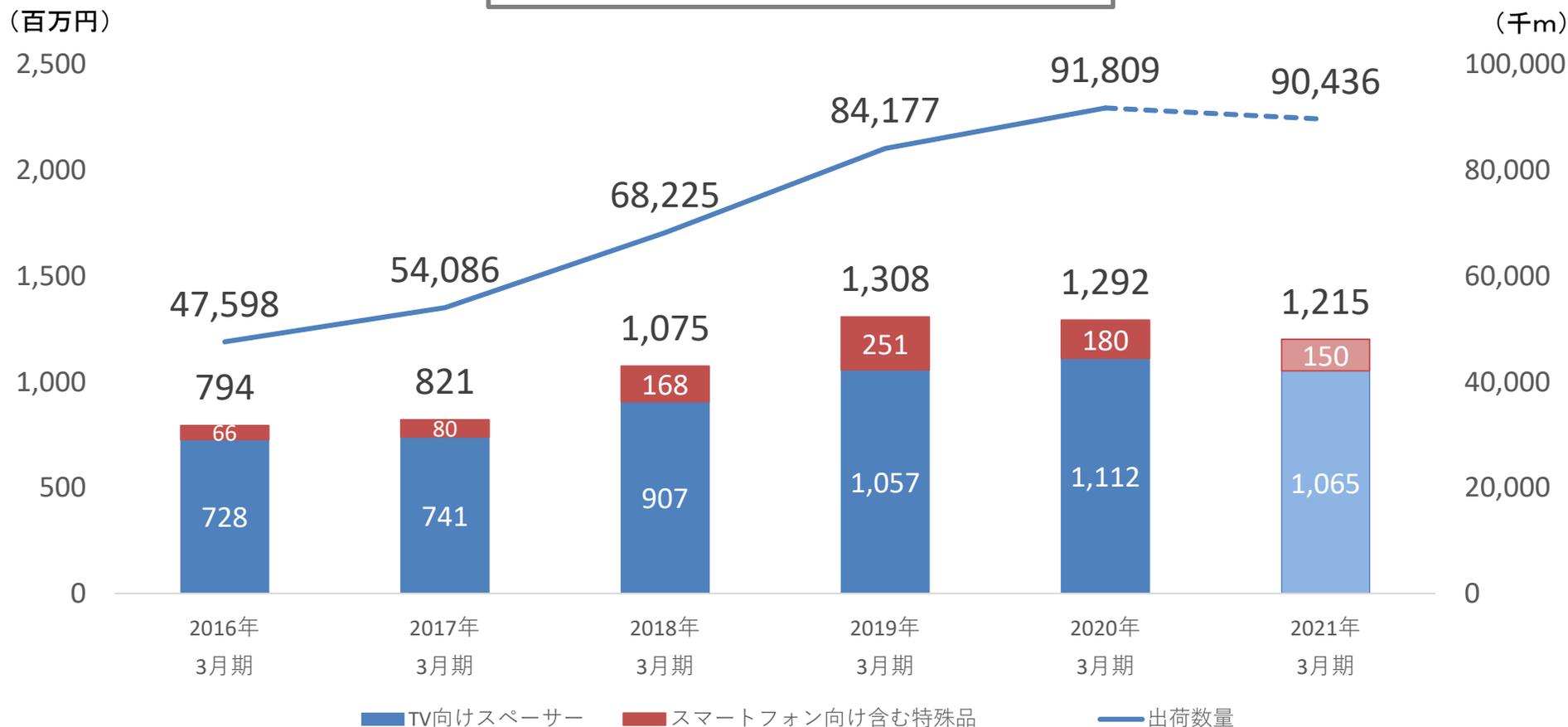
# 1-2 半導体資材四半期別出荷数量



当第3Qより前2期の出荷数量を上回り、下半期においては前期比6.3%増加の見込

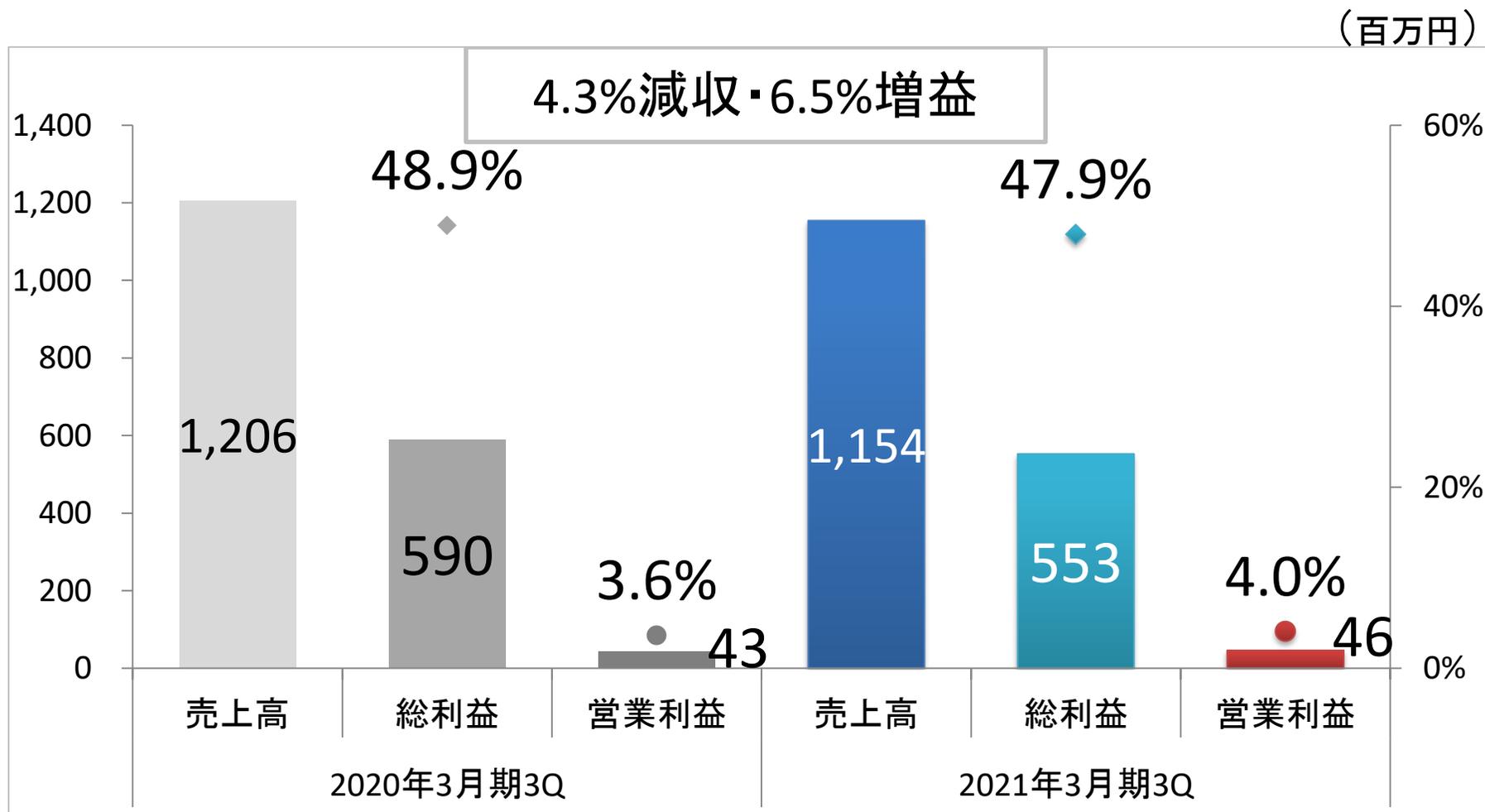
# 1-3 半導体資材の通期売上高実績及び見込

通期売上高・出荷数量推移



下期の受注回復により通期での出荷数量見込は前期比2.3%減まで圧縮、為替の影響とスマートフォン向けを含む特殊品が低調であったため最終売上高は6.9%減少の見込み

## 2. 衛生検査器材事業



5月～9月の前年割れから一転、10月以降は前期比を上回る受注が継続中

## 2-1 衛生検査器材の通期売上高見込

四半期毎売上高推移

(百万円)

2,000

1,500

1,000

500

1,533

1,571

1,525

354

364

370

409

406

418

377

409

375

394

391

362

2019年3月期

2020年3月期

2021年3月期

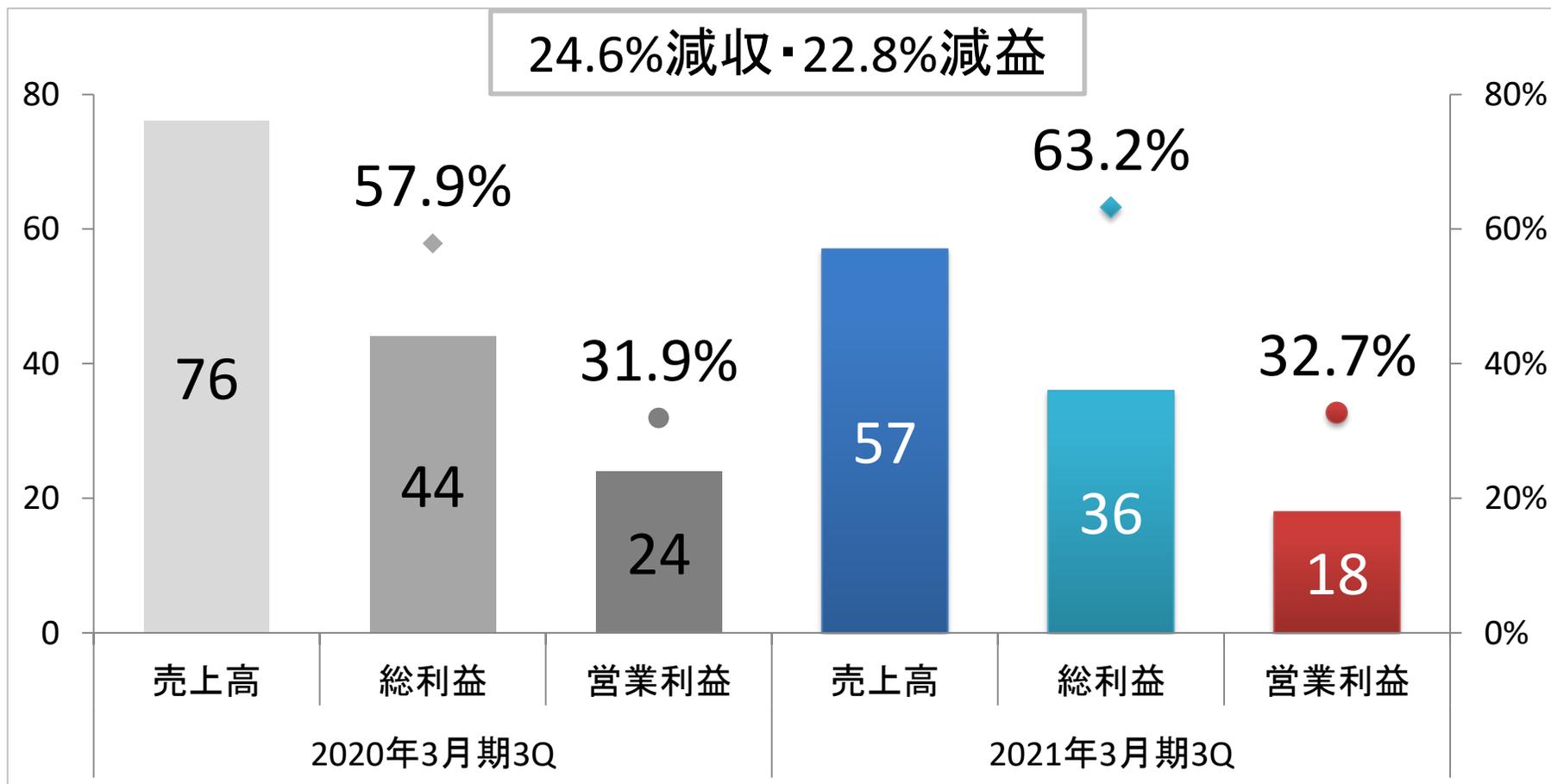
■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q

四半期単独  
の売上として  
は過去最高

現在の短期的な市況は国策によるキャンペーンの中断等、内食・デリバリー及びテイクアウト需要の増加により市販用食品が好調⇒当第3四半期単独売上高は四半期単位で過去最高を更新

### 3. PIM事業

(百万円)



長引く米中貿易摩擦と新型コロナウイルスの影響により半導体設備や工作機械の世界的需要が低迷し、高機能部品の受注回復には至っていない

## 3-1 PIM事業の自動車ターボ部品進捗

大手ターボメーカーと自動車用ターボ部品、ノズルベーンをはじめとする数品種の量産に関するMOU(了解覚書)を2019年8月に締結

- ・試作(当社) ⇒取引先とのシステム監査完了
  - ・評価(客先) ⇒ターボメーカーでの最終試験に合格  
量産開始1年前に必要な『本金型・本設備』の  
発注指示を正式受領
  - ・承認(自動車メーカー) ⇒最終の高温耐久試験(コロナの影響により遅延)
  - ・新設備導入立上げ(当社)
  - ・本監査
  - ・量産開始(当社)
- ⇒ 2021年2月末までに再計画立案予定

※赤文字部分が進捗  
青字部分は予定

新型コロナウイルスの再拡大の影響により、予定していた自動車メーカーでの試験開始が遅延

新規設備の導入・立ち上げ、安定量産技術の確立、PPAP(生産部品承認プロセス)の承認活動は予定通り進める

## 免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

## 本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 経営企画部 IR担当

TEL:0748-20-3400

E-mail: ir@atect.co.jp